

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：消化器内科 本田 寛和

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器内科 本田 寛和

健診における上部内視鏡検査の至適検査間隔に関する研究

1.研究の対象

当院予防医療センターにおいて 2004 年 1 月 1 日から 2018 年 10 月 31 日までに上部内視鏡検査を施行した 20 歳以上の方。

2.研究の目的・方法

・健康診断として施行する上部内視鏡検査(胃カメラ)をどれ程の間隔で受けたらよいか答えはまだはっきりしておりません。

そこで本研究では対象者それぞれの背景粘膜も考慮し、至適な検査間隔を明らかにすることを目的としております。

・本研究の実施期間は当法人 研究倫理審査委員会承認後から西暦 2021 年 12 月 31 日までを予定しています。

・なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

3.研究に用いる試料・情報の種類

●患者背景：ID、性別、年齢、身長、体重、予防医療センターの問診票結果（既往歴：病名コード、発症年齢、治療状況。家族歴：患者との関係、発症年齢、喫煙、飲酒、食事内容、活動度）等。

●検査結果：上部内視鏡の結果レポート、内視鏡検査の日時、開始・終了時間、前回の内視鏡検査からの日数、上部内視鏡撮影枚数、生体検査を行った場合の病理結果、その後の内視鏡的粘膜下層剥離術や外科切除が施行された場合はその病理結果。

血液検査（ヘリコバクターピロリ抗体 IgG）、ピロリ便中抗原、尿素呼気試験の結果等